

[成果情報名]カンキツ「河内晩柑」における後期落果軽減のための植物調節剤の効果的使用法

[要約] 植物成長調整剤によるカンキツ「河内晩柑」の後期落果軽減では、1回目に NAA 水溶剤 1,000 倍液を 1~2 分着色期に散布し、2 回目に MCPB 乳剤 2,000 倍液を 5~6 分着色期に散布すると効果が高い。

[キーワード] 「河内晩柑」、植物成長調整剤、MCPB、NAA、後期落果

[担当] 熊本県農業研究センター果樹研究所 天草農業研究所

[代表連絡先] 電話 0969-22-4224

[分類] 普及成果情報

[背景・ねらい]

「河内晩柑」は着色期から収穫期にかけて後期落果し、樹勢の低下等により 3 割以上落果し減収につながる。そのため、9 月の施肥やかん水などの栽培管理と植物成長調整剤 MCPB エチル(以下 MCPB 乳剤)の 2 回散布で対応してきたが、2011 年に総使用回数が 2 回から 1 回に変更され、新たに 1-ナフタレン酢酸ナトリウム(以下 NAA 水溶剤)が登録された。

そこで、「河内晩柑」における後期落果軽減のための植物調節剤の効果的な使用方法を確立する。

[成果の内容・特徴]

1. NAA 水溶剤 1,000 倍液の着色 1~2 分と 5~6 分の 2 回散布は、着色 1~2 分の NAA 水溶剤 1 回散布及び MCPB 乳剤 1 回散布より後期落果軽減効果が高い(図 1)。
2. 2 回散布では、NAA 水溶剤を 2 回散布するより、MCPB 乳剤と NAA 水溶剤を 1 回ずつ散布する方法が落果軽減効果は高い(図 3)。
3. 2 回散布の組み合わせでは、1 回目に NAA 水溶剤を散布し、2 回目に MCPB 乳剤を散布すると、より効果が高い(図 2, 3)。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象: 「河内晩柑」生産者
2. 普及予定地域・普及予定面積・普及台数等: 熊本県「河内晩柑」栽培面積 160ha
3. その他: 他の品種では個別に検討が必要。

[具体的データ]

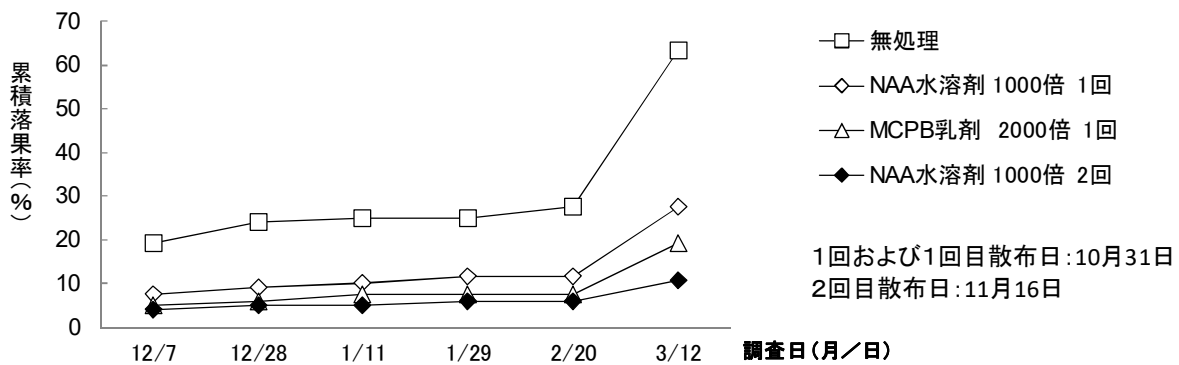


図1 NAA水溶剤散布が「河内晩柑」の後期落果に及ぼす影響(2011)

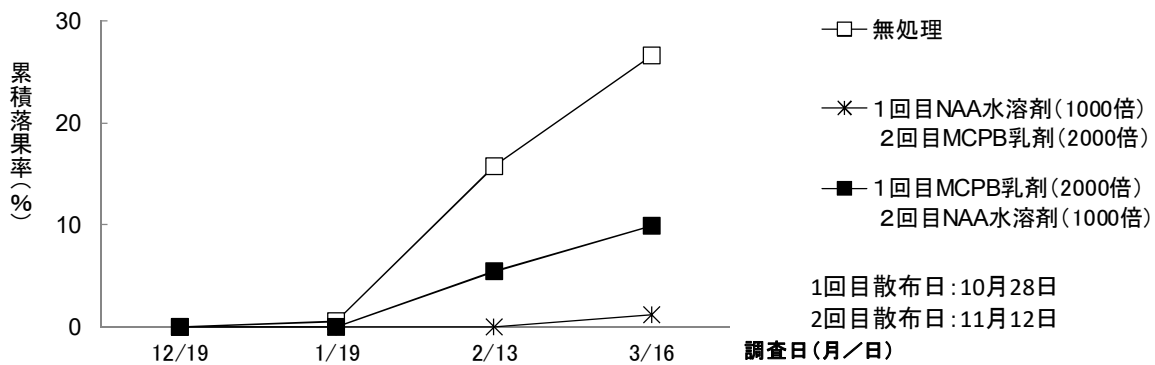


図2 「河内晩柑」の後期落果に対するNAA水溶剤とMCPB乳剤の効果(2013)

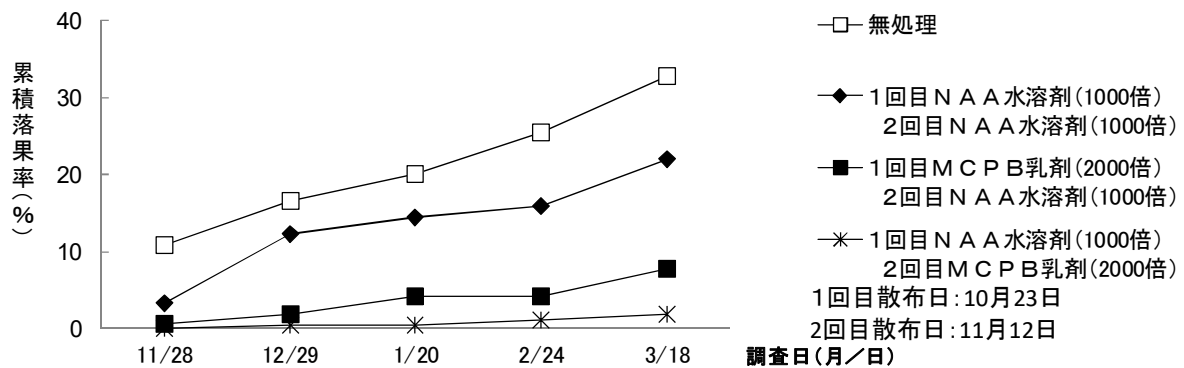


図3 「河内晩柑」の後期落果に対するNAA水溶剤とMCPB乳剤の効果(2014)

(熊本県農業研究センター天草農業研究所)

[その他]

予算区分：県単

研究機関：2010～2015年度

研究担当者：神山光子、坂本節、山添純歌、藤田賢輔、榎英雄

発表論文等：

- 1) 猪原 (2000) 九州農業研究 第62号 242項
- 2) 猪原 (2000) 熊本県農業研農業の新しい技術 No. 456
- 3) 神山 (2014) 熊本県農業研究成果情報 No. 623
- 4) 山添 (2017) 熊本県農業研究成果情報 No. 765